

お手つだい大きくせん

落合小学校 二年

にたに はるき
仁谷 悠生

ぼくは、夏休みに、せんたくものをたたむお手つだいをします。おとなの大きいふくは、たたむのがむずかしいです。シャツをたたむのが一ばんかんたんです。一年生のときからお手つだいをしているので、たたんだふくを入れるばしょもぜんぶわかります。たくさんあるので、まい日してるおばあちゃんは、すごいなと思います。ぼくもがんばってお手つだおうと思います。

ぜんぶたたみおわると、おばあちゃんが、

「うめジュースをもうや。」

と言います。ぼくはレモンジュースの方が好きなので、

「きょうはレモンジュースがほしいな。」

と言ったら、レモンジュースをついで、その中にこおりをいっぱい入れてくれます。お手つだいのあとのジュースは、つめたくてとてもおいしいです。よるにおじいちゃんがかえてきた

ら、ごほうびに十円くれるのでうれしいです。

おじいちゃんは、にわの花やはっぱを食べる虫をつかまえると、おこづかいをくれます。バツタが五円、イナゴが十円、大きいバツタとイナゴがとくべつボーナスで、二十円です。そとはとてもあついで、ほうしをかぶって行きます。ひまわりのはっぱによく小さなバツタがついているので、がんばってとります。

おじいちゃんが、

「よくがんばったなあ。ありがとう。」

と言ってくれるので、またがんばろうと思います。

ぼくは、お手つだいをしてもらったおこづかいをためて、ほしいおもちゃがあります。でも、おかあさんが、

「むだつかいしちゃだめ。」

と言うので、買えないかもしれません。だけど、おしごとをがんばっているおかあさんには、ごほうびを買ってあげようと思います。